

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：ハートンこまづめ認定こども園		種別：幼保連携型認定こども園
代表者氏名：関 エリコ		定員（利用人数）：116（115）名
所在地：岐阜市東駒爪町17		
TEL：058-213-7688		ホームページ： http://hearten-komazume.jp/
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 昭和25年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 瑞鳳会		
職員数	常勤職員：26名	非常勤職員 7名
専門職員	（専門職の名称）名	
	保育教諭 24名	
	看護師 2名	
	栄養士 1名	
	調理師 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 3室 幼児室 3室 一時預かり室 1室	事務室 職員休憩室 調理室 トイレ

③理念・基本方針（※転載）

基本理念 家庭的であたたかな雰囲気の中で3つのハート 元気な心 思いやりの心 豊かな心 皆で育てあえる保育 教育・保育目標 「すこやかに のびやかに しなやかに」 すこやかに・・・健康な身体と心を持つ子に のびやかに・・・自分で考え、意欲的に遊ぶ子に しなやかに・・・明るく思いやりのある子に
--

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・以上児を対象にした「S I あそび」「体育教室」「英語教育」「プログラミング学習」「習字教室」など、豊かな特別教育事業としてのプログラムを用意し、一緒に遊び楽しく学ぶ保育を行っている。
- ・市街地でありながら、近隣には複数の公園があり、豊かな木々の自然に触れ合うことができる。今年度は新規活動として、岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、講師を招く等、本園の特色として取り組んでいる。
- ・園内は1階ホールと2階が吹き抜けになっており、1階ホールには「ハートキッチン」と名付けられた給食厨房室があり、調理の様子を子どもたちが自由に眺める事ができる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 3 年 8 月 2 5 日（契約日） ～ 令和 5 年 3 月 1 7 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成 2 8 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<子どもたちの主体性を尊重した保育が実践されている。>

一人ひとりの個性を尊重し、自分の意思により主体的に行動できるような保育環境づくりに取り組んでいる。吹き抜けの開放感があり、木のぬくもりのある保育環境を整え、「遊び」に集中できるよう、安心感が得られる保育環境の中で、子どもの内面的な力の引き出すための保育を行っている。保育にあたっては、一斉・画一的な方法をとらず、子どもの気持ち動いた時に、丁寧を受けとめる対応を行っている。このような姿勢で子どもたちに向き合うことで、他者への信頼感や多様な人々と共に考える・生きる力が育まれていくと考える。

<職員教育に力を入れている。>

新人向けの職員研修やプリセプター制度の実施、職員一人ひとりの業務に着目したO J T研修、職員の職位に着目した階層別研修、テーマ別研修等を実施している。今年度も引き続き、コロナ禍の状況にあるが、その中でも、オンライン研修、eラーニング等を活用し、職員の研修機会を充実させている。

<子どもの生活環境に恵まれている。>

園舎は利便性の高い市街地の中心部に位置しており、園周辺の散歩を通して町並みの雰囲気に触れるとともに、地域の人々と関わりを持つことができる。また、商店街等のイベントに気軽に参加でき、様々な人々と交流ができています。近隣には、いくつかの公園があり、季節ごとの自然との触れ合いを楽しむことができる環境にある。

＜意欲的に保育実践に取り組んでいる。＞

教育・保育目標にある「～健康な身体と心を持つ子・自分で考え、意欲的に遊ぶ子・明るく思いやりのある子～」を育むべく、日頃から職員間のコミュニケーションを大切にし、保育に関わる全職員がワンチームとなり、日々の保育内容を振り返りつつ、意欲的に保育実践に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

＜経営全般に渡る中・長期計画の充実化に向けた取り組みに期待したい。＞

中・長期ニーズ動向を予測し、5年をスパンとした計画を策定し、中・長期ビジョンを明確にしている。また、計画的に園舎新築や設備整備等を行ってきたところであり、人材育成やさらなる保育の質の向上等、今後とも取り組むべき課題を把握している。今後、これら経営課題を含めて、こども園の運営全般に渡る内容の中・長期計画の策定に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の岐阜県福祉サービス第三者評価の受審を通して、保育のあり方や園の運営全般について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する地域の子育て支援ニーズに対応した支援の提供に努めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。